

十勝川 湿地回復プロジェクト

失われつつある湿地を

創り出すために



目次

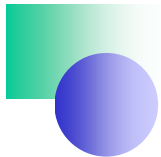
- 1 幌岡湿地ビオトープ計画地の様子
- 2 組織構成
- 3 ゾーニング



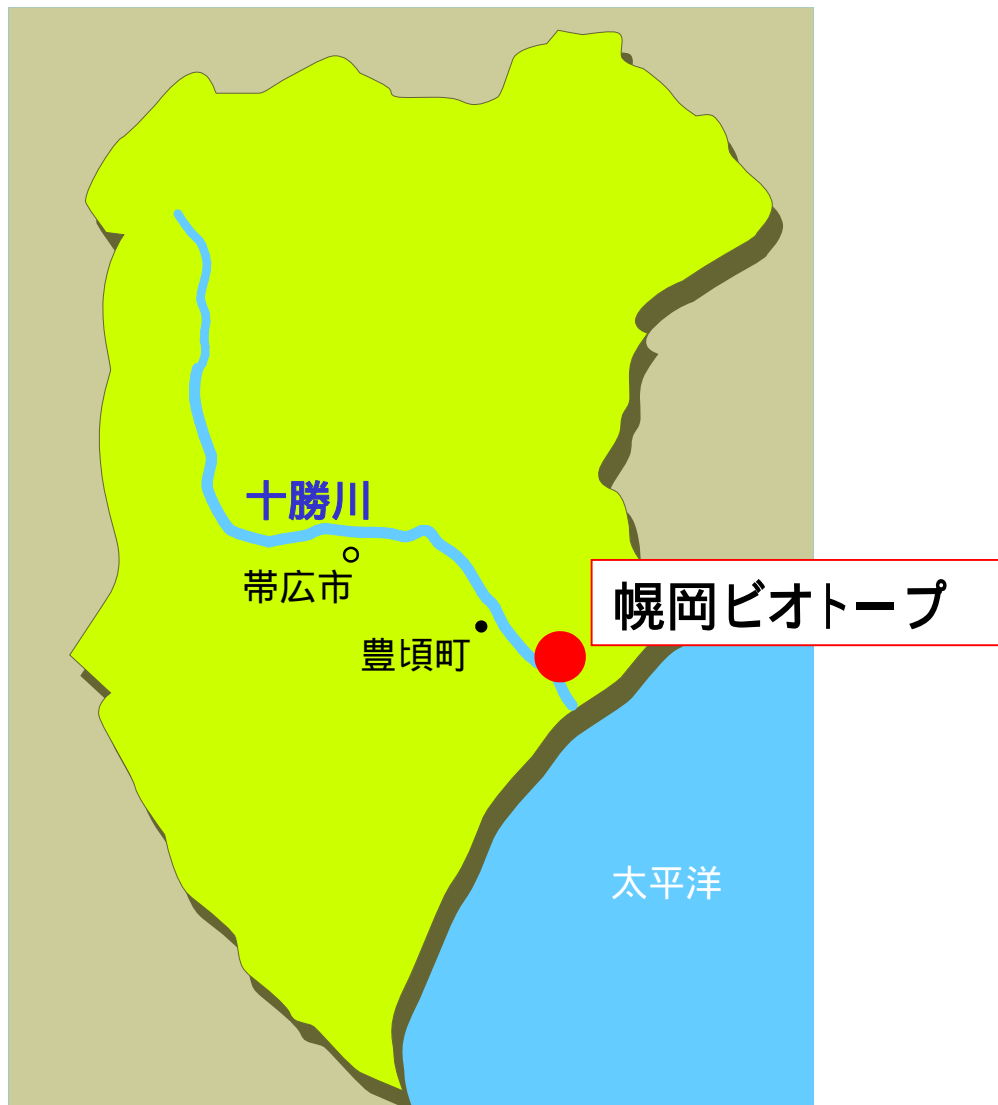
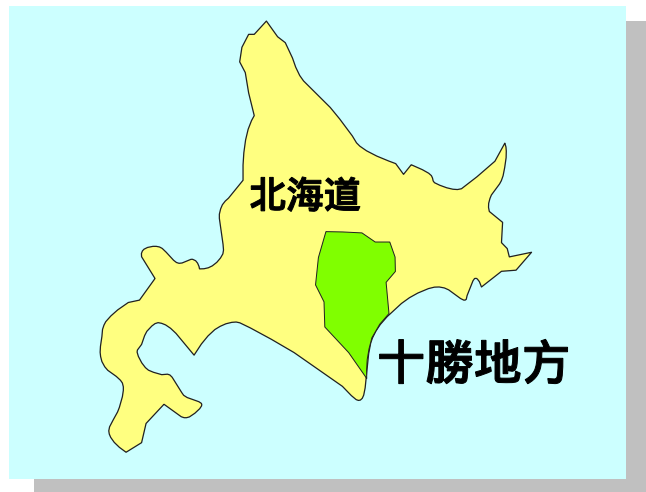
1. ビオトープ計画地の様子

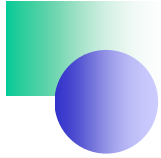
- 計画地の位置
- 計画地の様子
- 計画地周辺の湿地の減少





幌岡ビオトープ計画地の位置





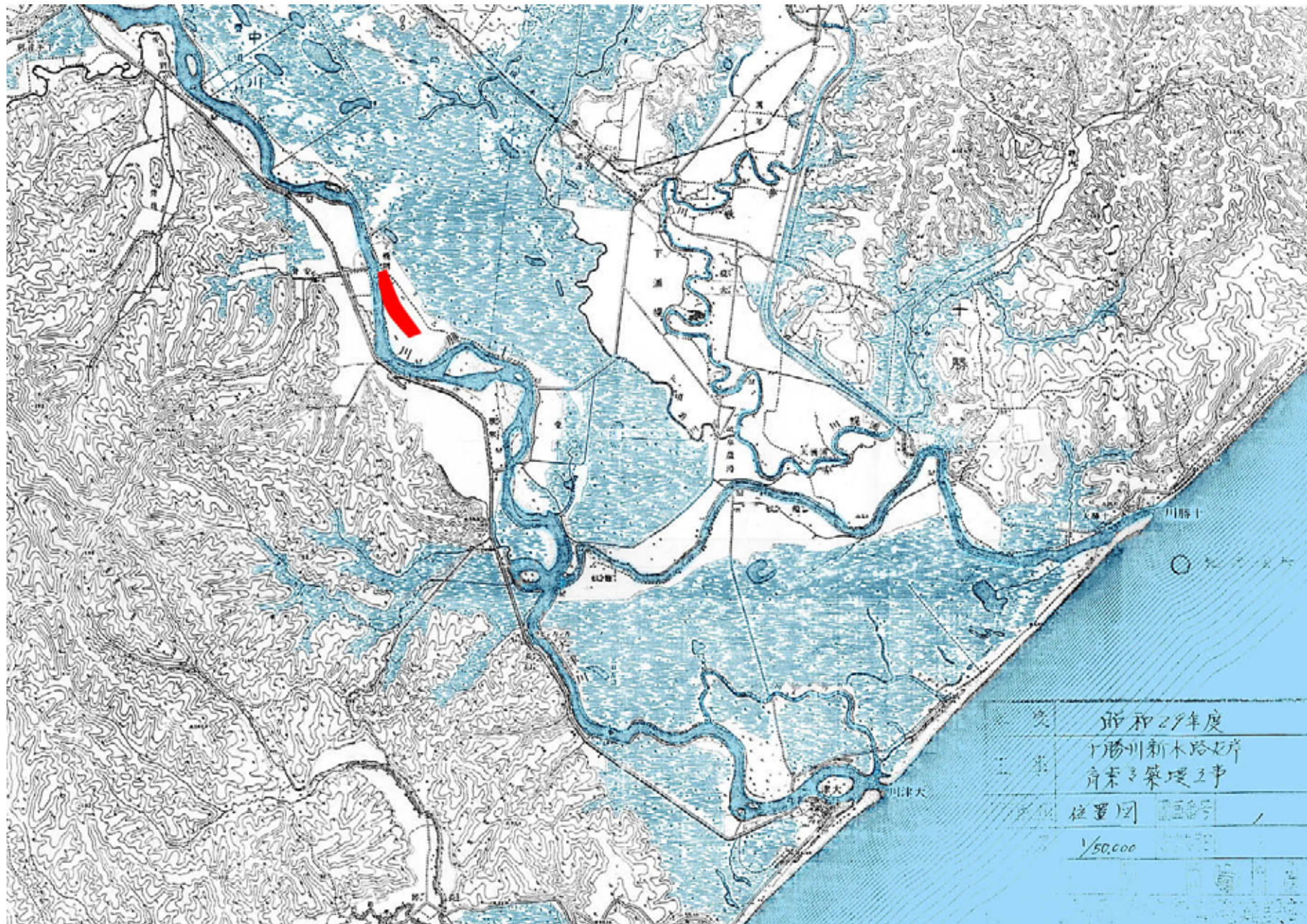
幌岡ビオトープ計画地の位置





周辺の湿地の減少

昭和20年頃の様子

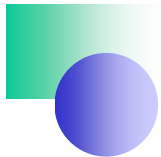




周辺の湿地の減少

最近の様子

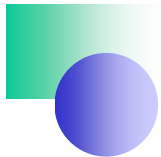




幌岡ビオトープ計画地の様子

2,000年 7月 撮影

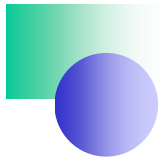




幌岡ビオトープ計画地の様子

2,000年 7月 撮影





幌岡ビオトープ計画地の様子

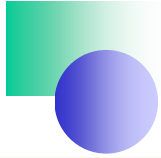
2,000年 8月 撮影



上流部(流水路掘削予定)



下流部(止水池掘削予定)



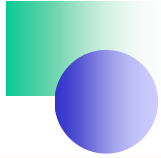
幌岡ビオトープ計画地の様子

上流部(流水路掘削予定)

2,000年 8月 撮影



平成11年度に掘削した池



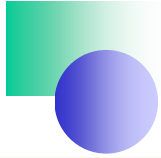
幌岡ビオトープ計画地の様子

下流部(止水池掘削予定)

2,000年 8月 撮影



平成11年度の土取り後にできた水たまり



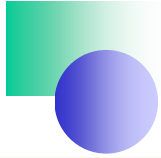
幌岡ビオトープ計画地の様子

下流部(止水池掘削予定)

2,000年 8月 撮影



平成11年度の土取り後の植生回復



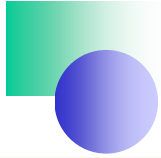
幌岡ビオトープ計画地の様子

下流部(止水池掘削予定)

2,000年 8月 撮影



平成11年度の土取り後にできた水たまり



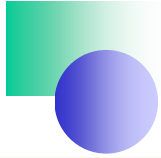
幌岡ビオトープ計画地の様子

下流部(止水池掘削予定)

2,000年 8月 撮影



水たまりわきのサジオモダカと足跡



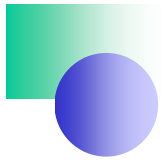
幌岡ビオトープ計画地の様子

下流部(止水池掘削予定)

2,000年 8月 撮影



サジオモダカ



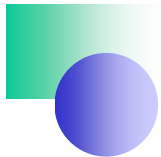
幌岡ビオトープ計画地の様子

下流部(止水池掘削予定)

2,000年 8月 撮影



タンチョウの足跡



幌岡ビオトープ計画地の様子

下流部(止水池掘削予定)

2,000年 8月 撮影

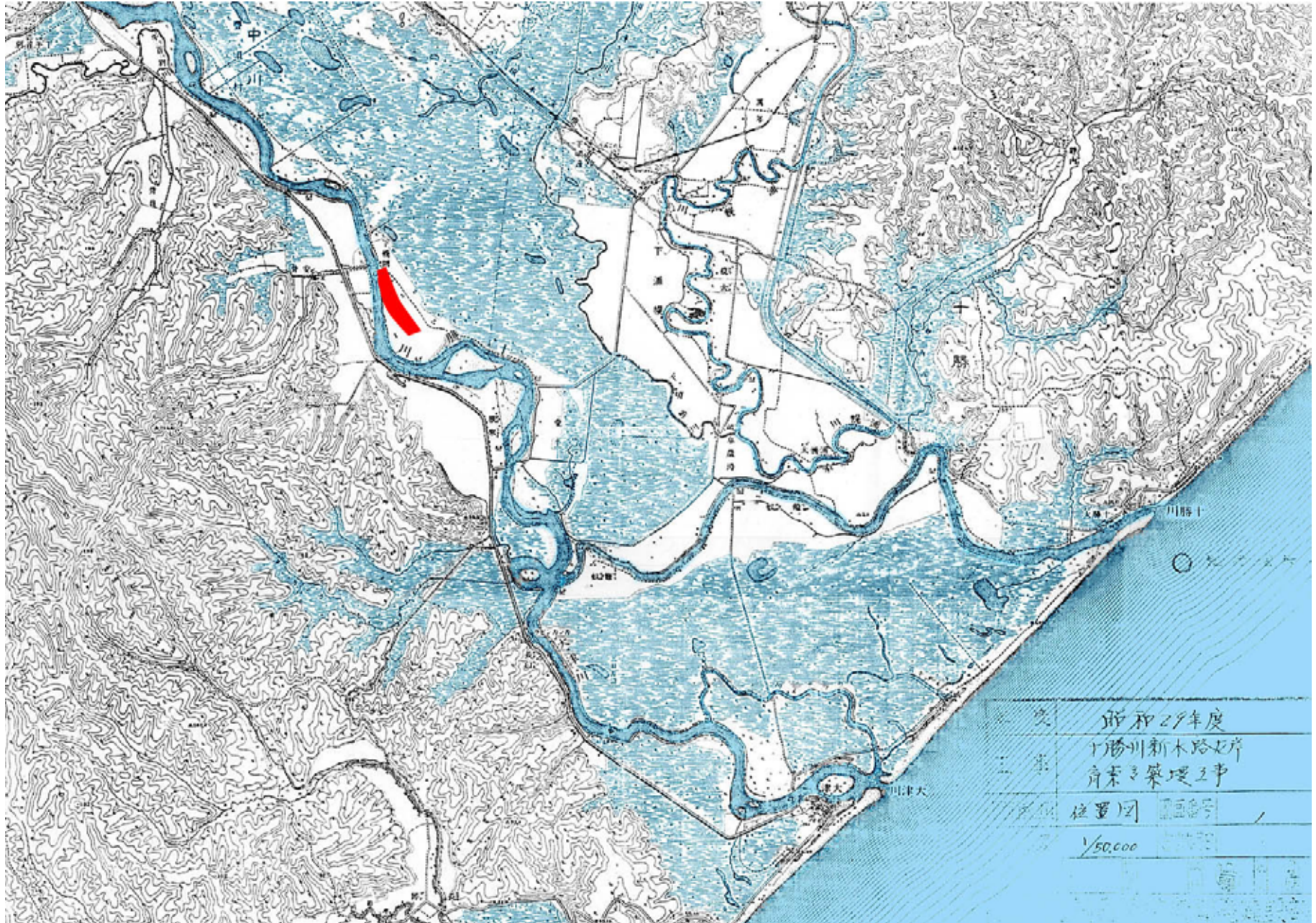


エゾシカの足跡



周辺の湿地の減少

昭和20年頃の様子





周辺の湿地の減少

最近の様子



2 プロジェクトの意義

グラウンドワーク手法の実験

---欲しいものを自分たちで作る

- 市民団体グループ ソフト利用、アイデア提供
- 建設業グループ 計画、維持管理、日常整備
- コンサルグループ 調査、設計
- 研究者グループ アドバイザー
- 北海道開発局帯広開発建設部

市民団体グループ

利用者としての要望と責任の明確化

- 現在 6 団体
- このフィールドを使って自分たちが実現したいことを具体化し、プロジェクト会議等を通じて進めていくソフトの推進母体となる。

建設業グループ

プロフェッショナルな支援と研究フィールド

十勝多自然ネット

- 従来の市民運動ではできなかった重機械等を使った整備やノウハウの提供
- 現地を使って多自然型工法の実験調査
- 周辺現場からの貴重種の緊急退避場所
- 日常的な維持管理

建設コンサルタントグループ

調査設計への支援と研究フィールド

- 現在4社
個々の計画の詳細設計，調査
植生，生態系回復の現地研究フィールド
プレゼンデータ等の作成

研究者グループ

- 鳥類の専門家と植物の専門家が支援表明
- 全体計画へのアドバイス
- 方向性
- 研究フィールド

帯広開発建設部

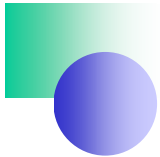
市民との川づくり

- 場所の提供
- 大規模な整備
- プロジェクトへの支援を通じて現在市民が望んでいる川を模索していく

3 ゾーニング(案)

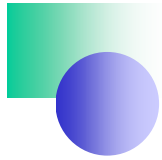


- 全体図
- 希少種保護増殖ゾーン
 - 野鳥の子育てゾーン
- 魚のゆりかごゾーン(流水路)
- トンボの楽園ゾーン(止水池)
 - 樹木スクリーンゾーン
 - 植物育成実験ゾーン
- 多自然型工法実験ゾーン
 - 基盤比較ゾーン
 - 観察・見学路



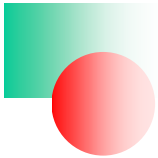
ゾーニング全体図





ゾーニング全体図





希少種保護増殖ゾーン

目的: 付近の工事区域内で見つかった希少植物の移植場所とする





ミクリ

移植方法

抽水植物(ミクリ・タマミクリなど)

根茎の移植

泥付きの根茎または地下茎のブロックを移植する。

適期は春。

湿地または水深50cm程度の場所に移植。

地下茎の移植

新芽付きの地下茎を30cmの長さに切って移植する。

適期は春。

湿地または水深20cm程度の場所に移植。



野鳥の子育てゾーン

目的：湿地性の場所を好む鳥類が営巣できる条件を整える



野鳥の子育てゾーン



イメージ図

望ましい条件

- ・夏でも残る水面
- ・池周辺の抽水植物群落
- ・ヨシの草原
- ・周辺のニワトコなどの群落

野鳥の子育てゾーン



コヨシキリ

営巣が想定される鳥類1

草原性鳥類

シマアオジ・コヨシキリ・ノビタキ・オオジシギ

・ヨシなどの草原を必要とする。

野鳥の子育てゾーン

営巣が想定される鳥類2

草原～灌木林

ベニマシコ

・ヨシなどの草原やニワトコなどの低木群落を必要とする。



ベニマシコ

野鳥の子育てゾーン



タンチョウ



マガモ

営巣が想定される鳥類3

水域

タンチョウ・マガモ

・夏でも残る水域、池周辺部のミクリやオオカサスゲ群落(カモの隠れ場所)、ヨシなどの草原を必要とする。

魚のゆりかごゾーン(流水路)

目的: 魚の産卵や稚魚育成にとって良好な環境を整える



魚のゆりかごゾーン(流水路)



イメージ図

望ましい条件

- ・蛇行した緩い流れ
- ・えぐられた水際部分
- ・水中の魚礁
- ・1 m前後の深みと水深の変化
- ・水際のヨシ群落
- ・水面に被さる樹木の枝葉

魚のゆりかごゾーン(流水路)

想定される魚類



イバラトミヨ



ウグイ

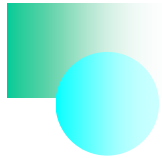


フクドジョウ



コイ

トゲウオ類・ハゼ類・ウグイ・フ
クドジョウ・コイ・フナ



トンボの楽園ゾーン(止水池)

目的:トンボを中心とした水生生物にとって良好な環境を整える



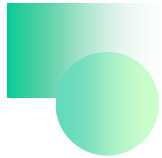
トンボの楽園ゾーン(止水池)



トンボ池のイメージ(高知県四万十トンボ公園)

望ましい条件

- ・水面が見えること
- ・ヨシなどの抽水植物
- ・ネムロコウホネなどの浮葉植物
- ・池周辺の数mの草地帯
- ・その背後の樹林帯



樹木スクリーンゾーン

目的：数種類の樹木帯で隣接畑との間に「カーテン」を引く



十勝川

樹木スクリーンゾーン

0 200 (m)

樹木スクリーンゾーン

苗木移植または播種での植樹が必要な
低木樹種

ホザキシモツケ ヤマハマナス ハマナス など



ホザキシモツケ



ヤマハマナス

樹木スクリーンゾーン

埋枝が可能な低木樹種

イヌコリヤナギ エゾニワトコ など



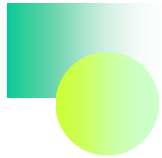
イヌコリヤナギ



エゾニワトコ



埋枝イメージ

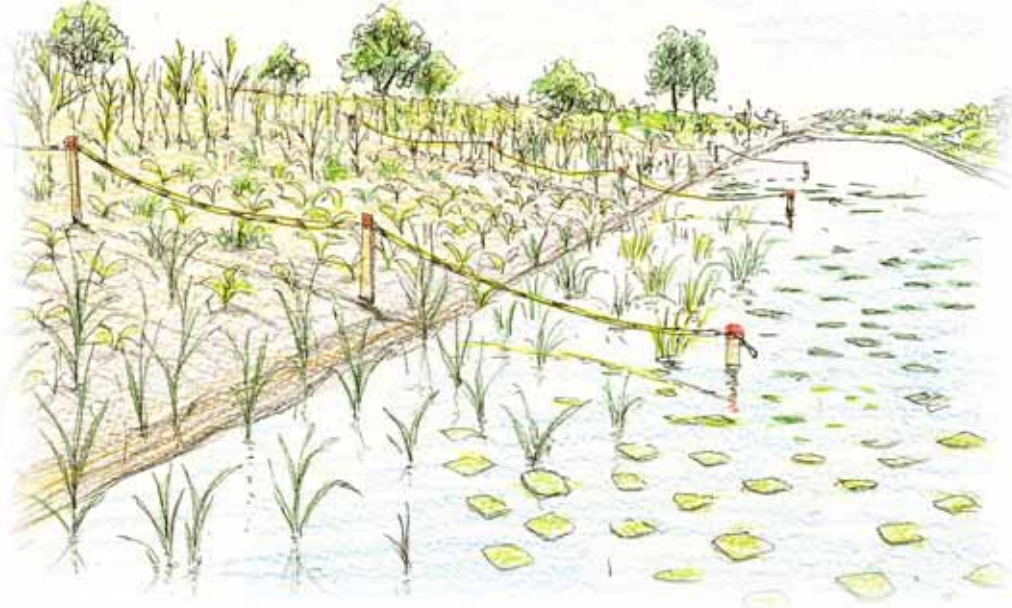


植物育成実験ゾーン

目的：移植方法や条件を変えて、湿性植物の育成試験をおこなう



植物育成実験ゾーン



イメージ図

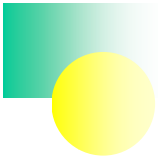
望ましい条件

- ・直線的な水際ライン
- ・1 m以上の水深
- ・陸から水中への緩やかな傾斜
- ・造成直後から試験に着手できるような実験計画

基盤比較ゾーン

目的：地表整形の違いによる植生回復や雰囲気の違いを比較する

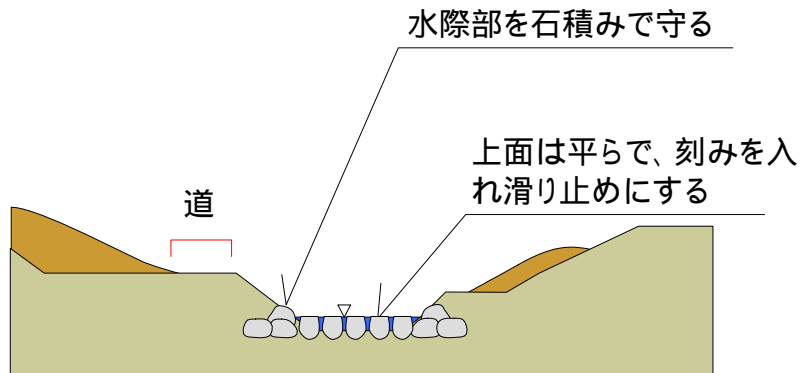




観察・見学路

目的：自然観察や見学をするための観察路や見はらし台を整備





飛び石イメージ

観察路

- ・水路沿いなどに幅1mほどの道をつける
- ・水路をわたれるように飛び石を設置する
- ・希少種～ゾーンや多自然～ゾーンの搬入路も移用する
- ・夏には草刈りなどのメンテナンスが必要

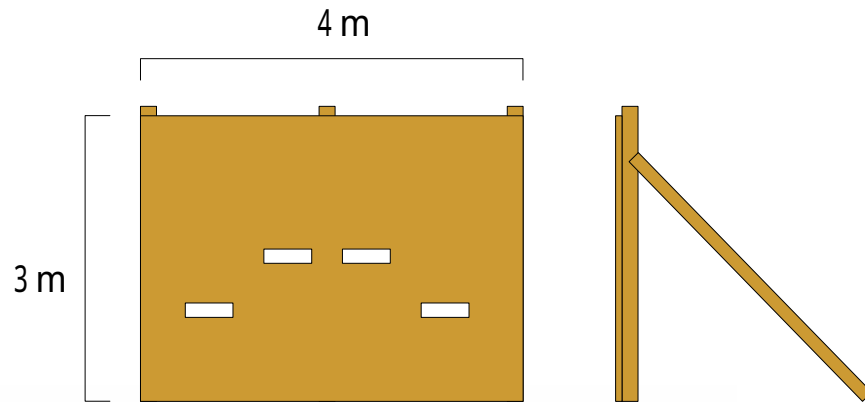
見はらし台

- ・ビオトープ全体を広く見渡せるような高台の造成をおこなう
- ・土盛りには掘削土などを利用する

案内板

- ・幌岡ビオトープの概略
- ・各ゾーンの説明
- ・生息・生育する動植物の解説

など



ブラインドパネルイメージ

ブラインドパネル

・特に鳥類営巣ゾーンでは、鳥の営巣などを妨げないために、観察用のブラインドパネルを設ける

十勝川 湿地回復プロジェクト

失われつつある湿地を創り出すために

終わり